
可児市地域公共交通網形成計画(案)

平成 31 年 月

可 児 市

目 次

序．地域公共交通網形成計画策定の背景と目的	1
1．可児市の地域概況と公共交通の現状	2
1) 可児市の地域概況.....	2
2) 上位・関連計画の整理.....	7
3) 公共交通の現状.....	11
2．市民ニーズ等の把握	15
1) 調査実施概要.....	15
2) 公共交通に関する市民アンケート.....	17
3) 乗降調査.....	21
4) バス利用者アンケート.....	26
5) 交通事業者ヒアリング.....	27
6) 各種団体ヒアリング.....	28
3．可児市における地域公共交通の主な課題	30
4．持続可能な地域公共交通の形成に資する地域公共交通の活性化 及び再生の推進に関する基本的な方針	41
1) 可児市の交通将来像.....	41
2) 地域公共交通の基本方針.....	42
5．計画の区域と計画期間	45
1) 可児市地域公共交通網形成計画の区域.....	45
2) 可児市地域公共交通網形成計画の計画期間.....	45
6．計画の目標	46
7．計画の目標を達成するために行う事業・実施主体	51
1) 公共交通の種類とサービス水準の設定.....	51
2) 公共交通ネットワーク形成の方針.....	53
3) 交通結節点の整備方針.....	59
4) 公共交通の利用促進施策.....	61
5) 事業の実施スケジュールと実施主体.....	65
8．計画の達成状況の評価に関する事項	66
1) 評価・検証の考え方およびその手順.....	66
2) 公共交通ネットワークの評価・検証.....	67
3) 個別事業および路線単位の評価・検証.....	68

序・地域公共交通網形成計画策定の背景と目的

可児市の公共交通は、鉄道がＪＲ太多線と名鉄広見線、バス等が東鉄路線バス、東鉄高速バス、コミュニティバスのさつきバス、電話で予約バスおよび一般タクシーなど、多様な公共交通が共存運行する中、平成 29 年 10 月 1 日より美濃加茂市コミュニティバスのあい愛バスが再編され、古井駅－可児川駅線が可児市内の名鉄可児川駅へ新たに乗り入れが始まったことや、可児市コミュニティバスにおいては平成 29 年 7 月より日曜日・祝日に運行する「おでかけしよK a r K バス・K タク」(※)の実証運行を経て、平成 30 年 4 月より本格運行を開始するなど、可児市内外においてバス路線の新たな展開が進んでいる。

また、ＪＲ可児駅、名鉄新可児駅周辺においては、「可児駅東西自由通路」、「子育て健康プラザ」が平成 30 年春に完成し、可児駅前広場も平成 31 年(2019 年)秋に拡張整備が完了する予定であり、今後はＪＲ可児駅と名鉄新可児駅を中心とした人の流れが大きく変わってくることから、公共交通のターミナル機能を可児駅前に集約する環境が整いつつある。

現在、可児市の公共交通計画は平成 25 年 6 月に策定した「可児市生活交通ネットワーク計画」があり、平成 25 年 10 月には本計画に基づき、コミュニティバスの大幅な再編を実施した。上記計画は平成 30 年 5 月に計画期間を満了したことから、これに代わる公共交通計画として、「可児市地域公共交通網形成計画」を策定し、コミュニティバスだけでなく可児市内の多様な公共交通が相互に連携し、可児市のまちづくりや観光振興等との連携を通じて持続可能な公共交通網を構築することを目指すものである。

※以下「Kバス」・「Kタク」とする。

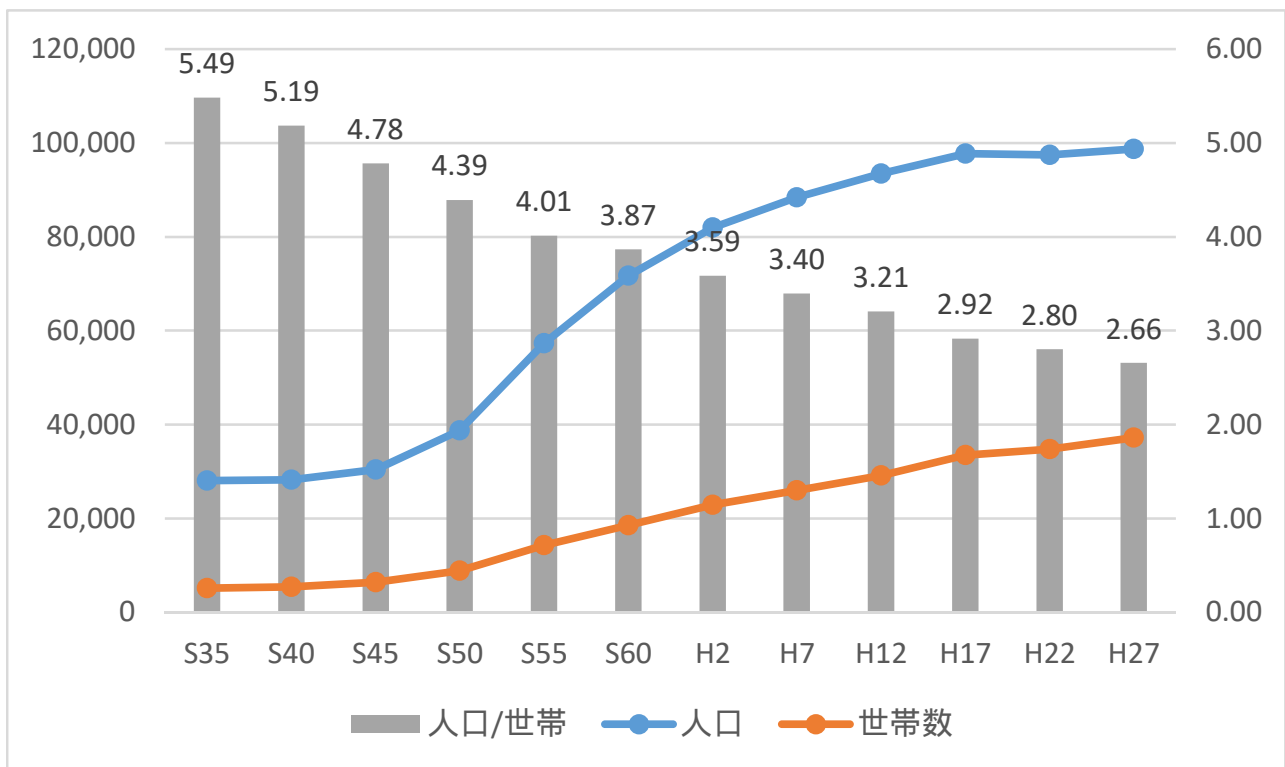
1. 可児市の地域概況と公共交通の現状

1) 可児市の概況

人口・世帯数の推移

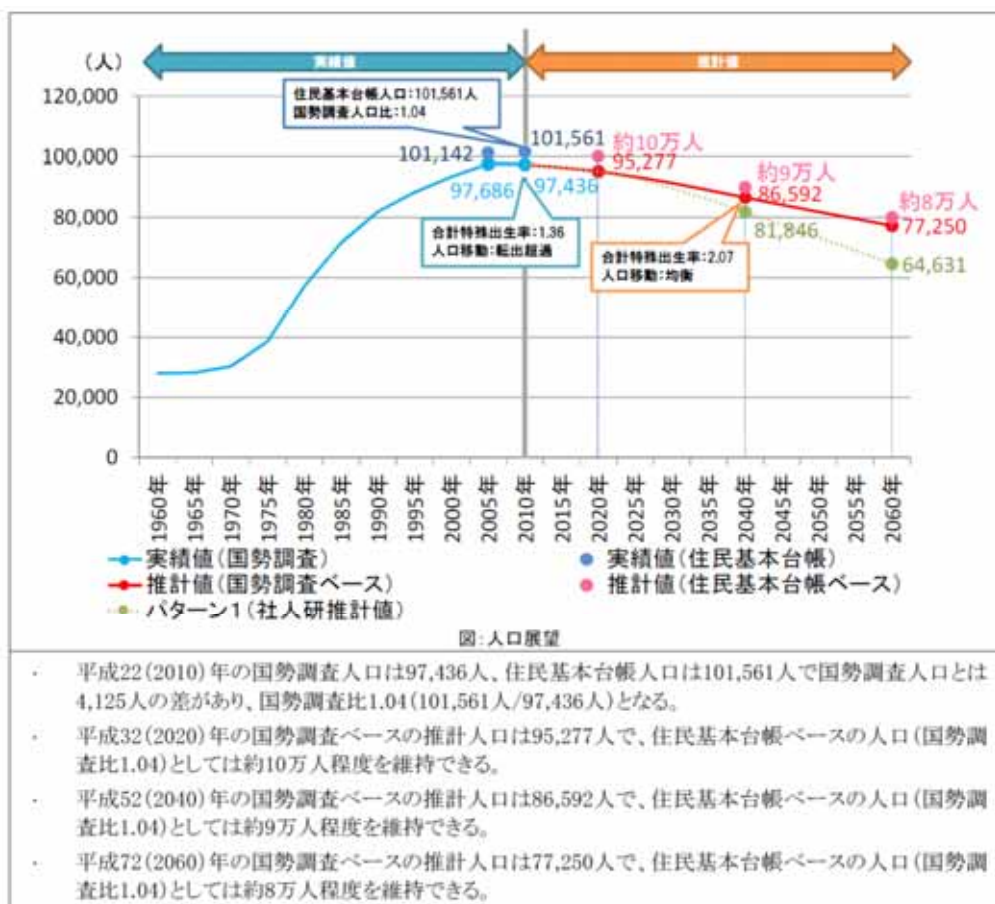
- ・可児市の人口は、昭和 45 年から平成 17 年にかけて大幅に増加した。その後は、平成 17 年から平成 22 年にかけて減少したものの、平成 22 年から平成 27 年にかけては増加している。（岐阜県の自治体うち、平成 22 年から平成 27 年にかけて人口増加がみられた自治体は 6 市町村。）
- ・世帯数は一貫して増加しており、人口の増加を大幅に上回る増加率であるため、1 世帯あたりの人員は昭和 35 年の 5.49 人/世帯から平成 27 年には 2.66 人/世帯と半分以下にまで減少している。
- ・可児市人口ビジョンでは、平成 32 年（2020 年）には人口を概ね 10 万人を維持し、平成 72 年（2060 年）における人口を概ね 8 万人を維持していくことを目標としている。

図 人口・世帯数の増減状況



※資料：国勢調査

図 人口推計

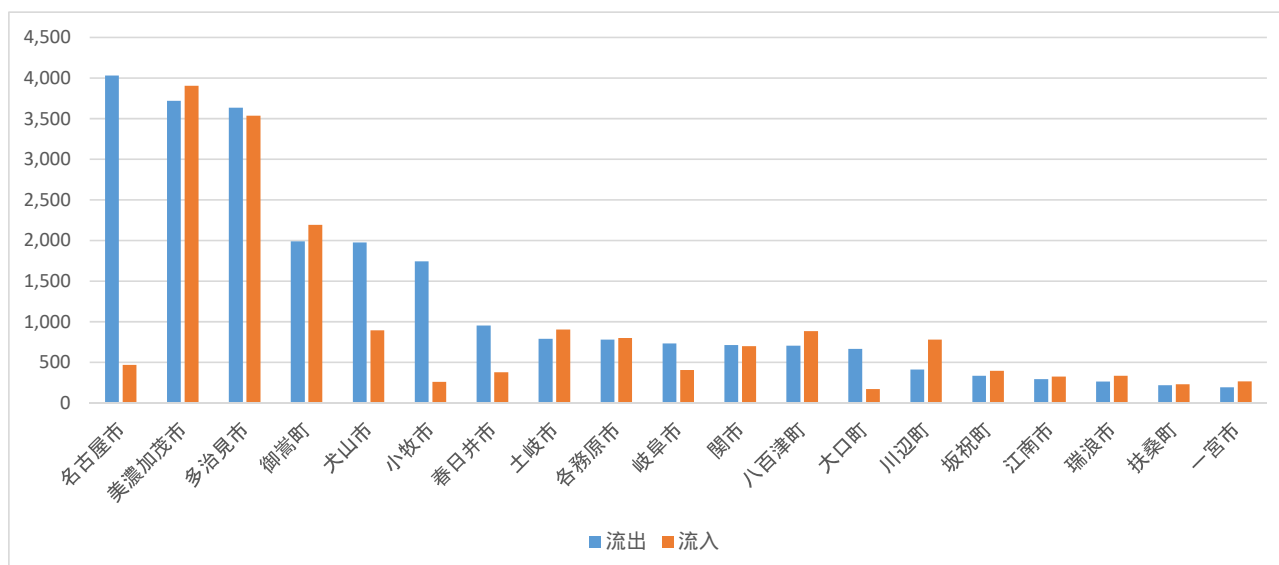


※出典：可児市人口ビジョン

人口流動

- ・ 主な流出入先は、名古屋市、美濃加茂市、多治見市、御嵩町、犬山市、小牧市などであり、名古屋市、犬山市、小牧市、春日井市に対して大幅な流出超過となっている。

図 主な流出入先（流出数、流入数のいずれかが200人以上のもの、平成27年）

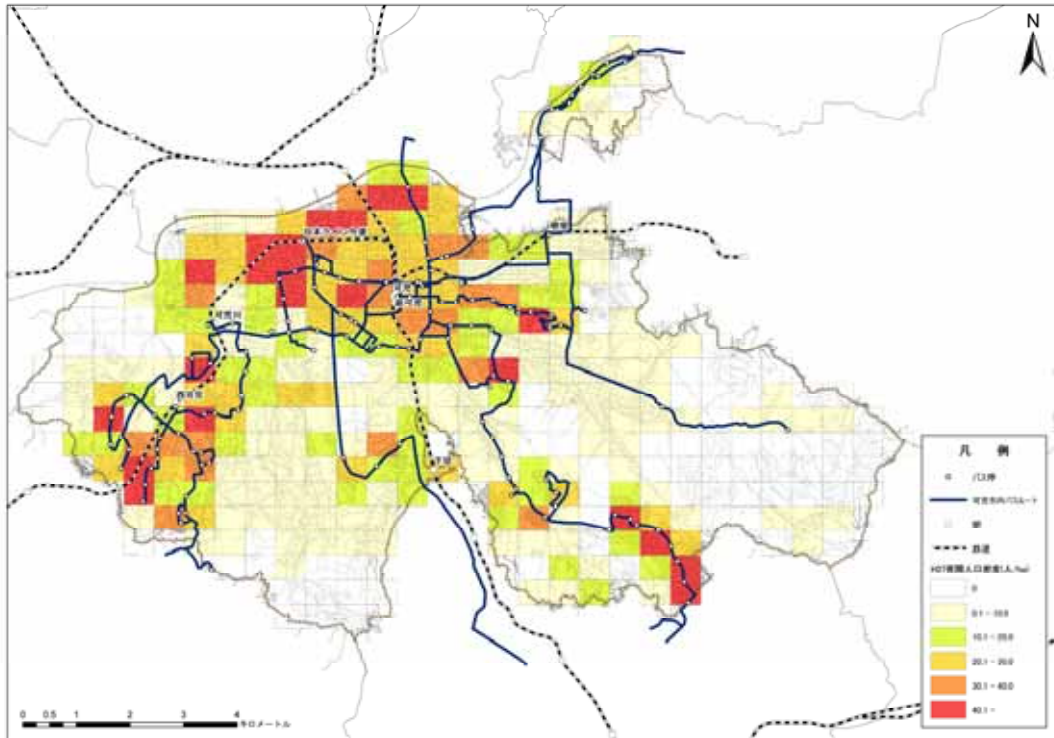


※資料：平成27年国勢調査

人口分布

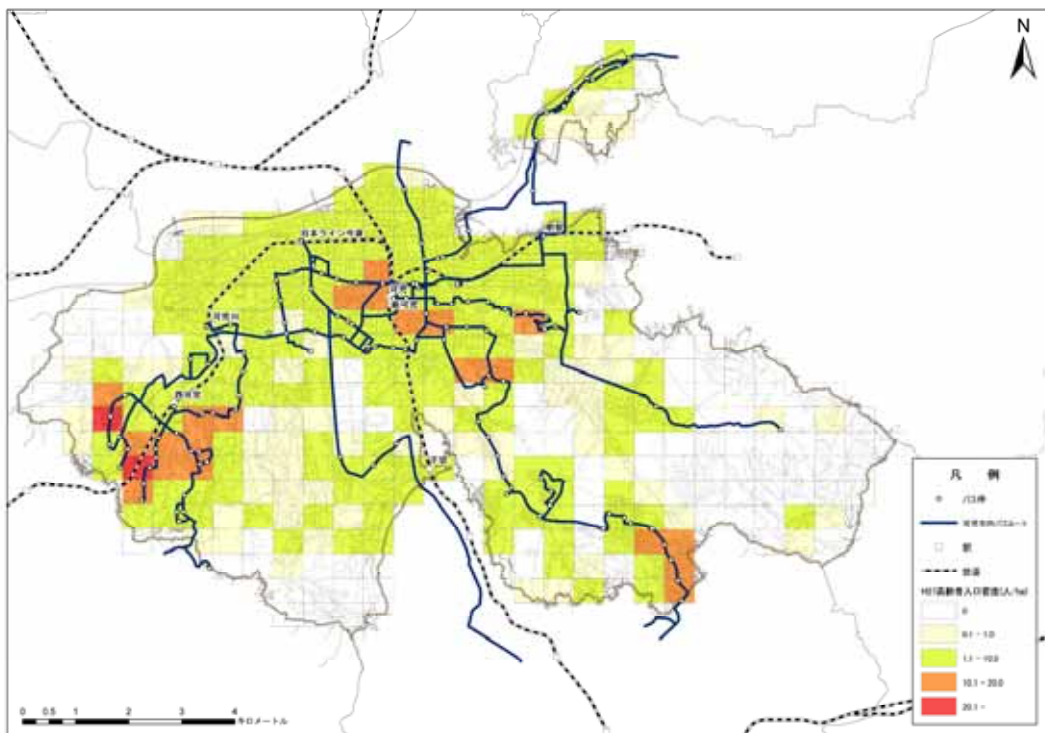
- ・夜間人口密度は、鉄道及びバス路線がある地域で比較的に高い。
- ・65歳以上人口密度（高齢人口密度）は、鉄道駅及びバス路線のある地域で比較的に高い。

図 夜間人口密度（平成 27 年）



※資料：平成 27 年国勢調査

図 高齢人口密度（平成 27 年）



※資料：平成 27 年国勢調査

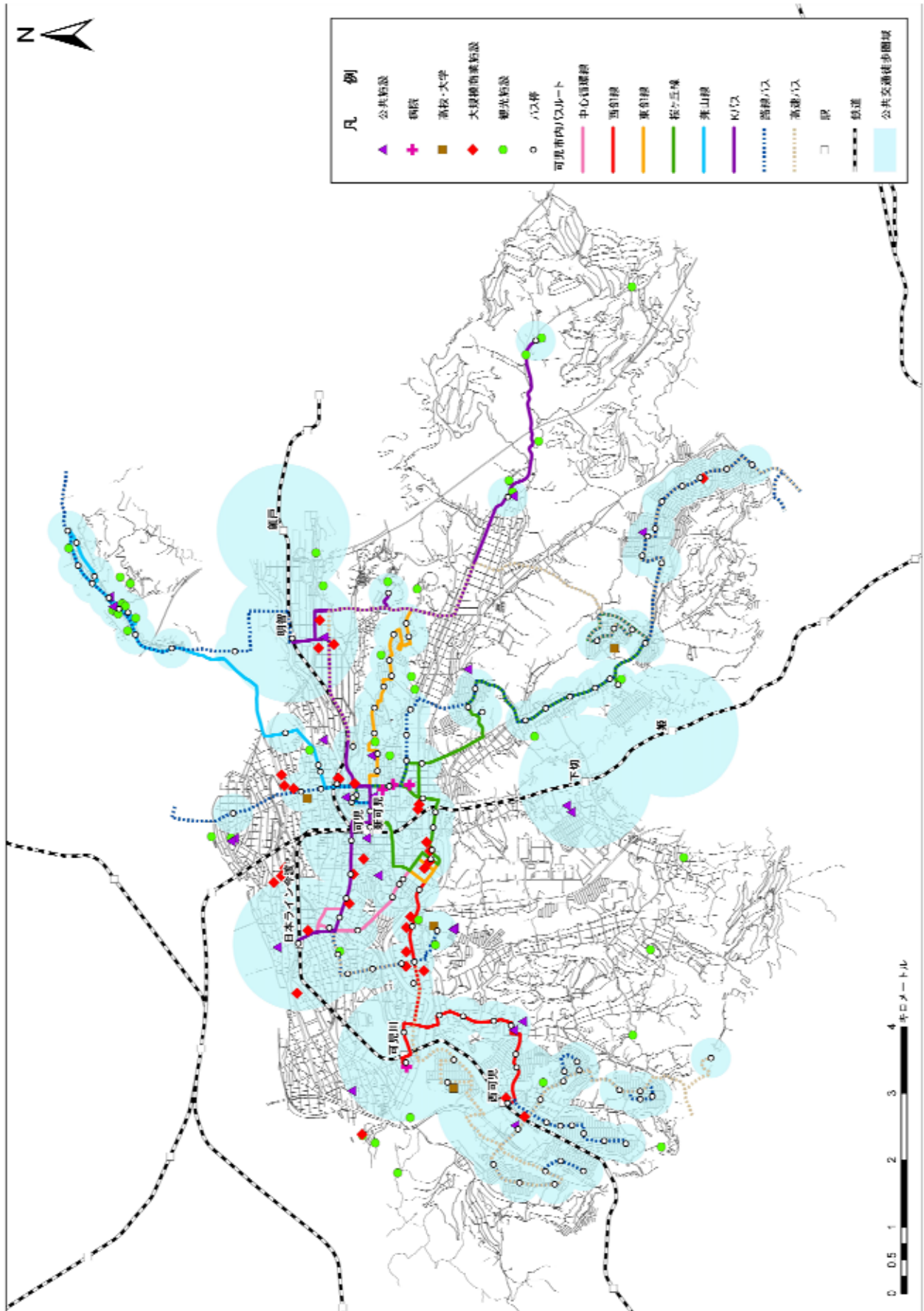
大規模集客施設の立地状況

- ・ 公共施設は市の全域に広く分布しており、鉄道駅およびバス路線のある所に立地しているものが多い。
- ・ 病院は J R 可児駅/名鉄新可児駅または名鉄可児川駅付近に立地している。
- ・ 高校・大学等はバス路線のある所に立地している。
- ・ 大規模商業施設はほとんどが鉄道およびバス路線のある地域に立地している。
- ・ 観光施設はバス路線のある地域に多いが、公共交通の利便が低いところに立地しているものも多い。

表 大規模集客施設の定義

大規模集客施設の種類		大規模集客施設の規模等
商業 ・ 娯楽系	商業施設	施設の床面積の合計が 3,000m ² を超えるもの
	店舗、飲食店、劇場、映画館、演芸場、スタジアム、ホール、展示場、遊技場等の不特定多数の人が利用する施設	
公共 ・ 公益系	公共施設（国、地方公共団体の拠点施設：庁舎、文化施設、運動施設等）	国、県、市が整備する公共施設で不特定多数が利用する施設
	病院	全て
	高等学校、大学等	高等学校、大学、短期大学、専門学校及びこれに類する施設の全て

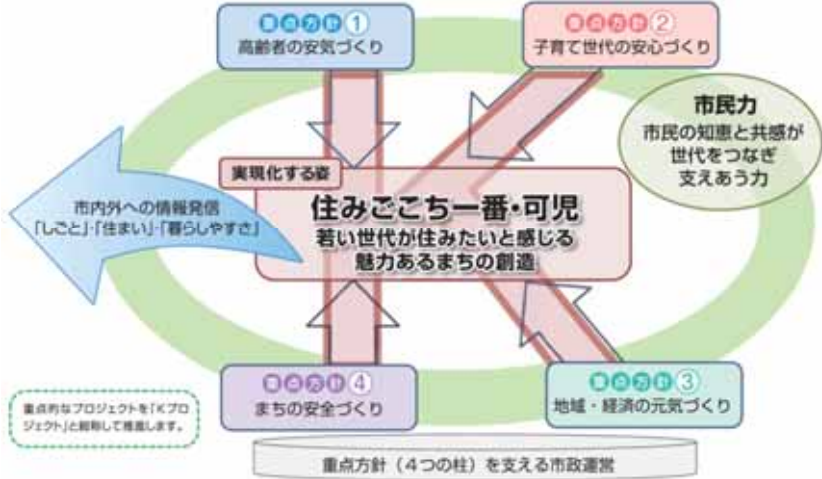
図 大規模集客施設の立地状況



※鉄道駅から1km、バス停から300mを公共交通徒歩圏と設定。なお、バス停とは東鉄バス、Y A Oバス、さつきバス、Kバス、あい愛バスのバス停であり、電話で予約バスの停留所は含まない。
 ※資料：国土数値情報

2) 上位・関連計画の整理

可児市第四次総合計画後期基本計画

計画期間	平成 28 年度～平成 31 年度（2019 年度）																									
計画の趣旨	<p>少子高齢化に的確に対応するとともに、人口減少に歯止めをかけ、活力ある街を維持していくためには、市民力、歴史、文化、自然などの様々な地域資源を活用しながら、子育てがしやすく、元気な地域経済に支えられた安心・安全なまちで、高齢になっても安気に暮らし続けることができ、若い世代をはじめ、誰もが満足と幸せを感じて暮らすことができる住みごこちの良いまちを創り上げていくことが重要です。</p>																									
計画の概要	<p style="text-align: center;">実現化する姿と重点方針（4つの柱）の概念図</p>  <p style="text-align: center;">重点方針（4つの柱）を支える市政運営</p>																									
交通に関する記述の概要	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <h4 style="text-align: center; background-color: #e0e0e0;">基本事務の構成</h4> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 20%;">後期基本事務</th> <th style="width: 60%;">基本事務の内容（○=新規、□=継続、—=主要事業）</th> <th style="width: 20%;">主な担当課</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>(3) 公共交通の維持充実</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ○地域公共交通網形成計画の策定と交通網再編による利便性向上 □名鉄広見線（新可児駅～旧高駅）の維持存続のための運営支援と利用促進 □路線バスの運行支援と利用促進 □コミュニティバスのサービス水準の維持・充実と利用促進 □可児駅自由通路整備によるバリアフリー化と安全確保など可児駅周辺の利用しやすい環境の整備 </td> <td>都市計画課 都市整備課</td> </tr> </tbody> </table> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <h4 style="text-align: center; background-color: #e0e0e0;">目標指標</h4> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 5%;">区分</th> <th style="width: 35%;">指標名</th> <th style="width: 15%;">現状値 (平成26年度)</th> <th style="width: 15%;">目標値 (平成31年度)</th> <th style="width: 30%;">指標データの算定式又は出典など</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3" style="text-align: center;">目標</td> <td>昭和56年5月31日以前の 耐震不十分な住宅の耐震 診断率（再掲施策4-2）</td> <td style="text-align: center;">25.7%</td> <td style="text-align: center;">46.3%</td> <td>住宅・土地統計調査（5年毎）</td> </tr> <tr> <td>道路改良率</td> <td style="text-align: center;">78.6%</td> <td style="text-align: center;">79.6%</td> <td>市道改良延長距離÷市道認定延長距離×100</td> </tr> <tr> <td>コミュニティバスの利用者数</td> <td style="text-align: center;">78,107人</td> <td style="text-align: center;">85,800人</td> <td>コミュニティバスの年間利用者数</td> </tr> </tbody> </table> </div>		後期基本事務	基本事務の内容（○=新規、□=継続、—=主要事業）	主な担当課	(3) 公共交通の維持充実	<ul style="list-style-type: none"> ○地域公共交通網形成計画の策定と交通網再編による利便性向上 □名鉄広見線（新可児駅～旧高駅）の維持存続のための運営支援と利用促進 □路線バスの運行支援と利用促進 □コミュニティバスのサービス水準の維持・充実と利用促進 □可児駅自由通路整備によるバリアフリー化と安全確保など可児駅周辺の利用しやすい環境の整備 	都市計画課 都市整備課	区分	指標名	現状値 (平成26年度)	目標値 (平成31年度)	指標データの算定式又は出典など	目標	昭和56年5月31日以前の 耐震不十分な住宅の耐震 診断率（再掲施策4-2）	25.7%	46.3%	住宅・土地統計調査（5年毎）	道路改良率	78.6%	79.6%	市道改良延長距離÷市道認定延長距離×100	コミュニティバスの利用者数	78,107人	85,800人	コミュニティバスの年間利用者数
後期基本事務	基本事務の内容（○=新規、□=継続、—=主要事業）	主な担当課																								
(3) 公共交通の維持充実	<ul style="list-style-type: none"> ○地域公共交通網形成計画の策定と交通網再編による利便性向上 □名鉄広見線（新可児駅～旧高駅）の維持存続のための運営支援と利用促進 □路線バスの運行支援と利用促進 □コミュニティバスのサービス水準の維持・充実と利用促進 □可児駅自由通路整備によるバリアフリー化と安全確保など可児駅周辺の利用しやすい環境の整備 	都市計画課 都市整備課																								
区分	指標名	現状値 (平成26年度)	目標値 (平成31年度)	指標データの算定式又は出典など																						
目標	昭和56年5月31日以前の 耐震不十分な住宅の耐震 診断率（再掲施策4-2）	25.7%	46.3%	住宅・土地統計調査（5年毎）																						
	道路改良率	78.6%	79.6%	市道改良延長距離÷市道認定延長距離×100																						
	コミュニティバスの利用者数	78,107人	85,800人	コミュニティバスの年間利用者数																						

※出典：可児市第四次総合計画後期基本計画

可児市総合戦略

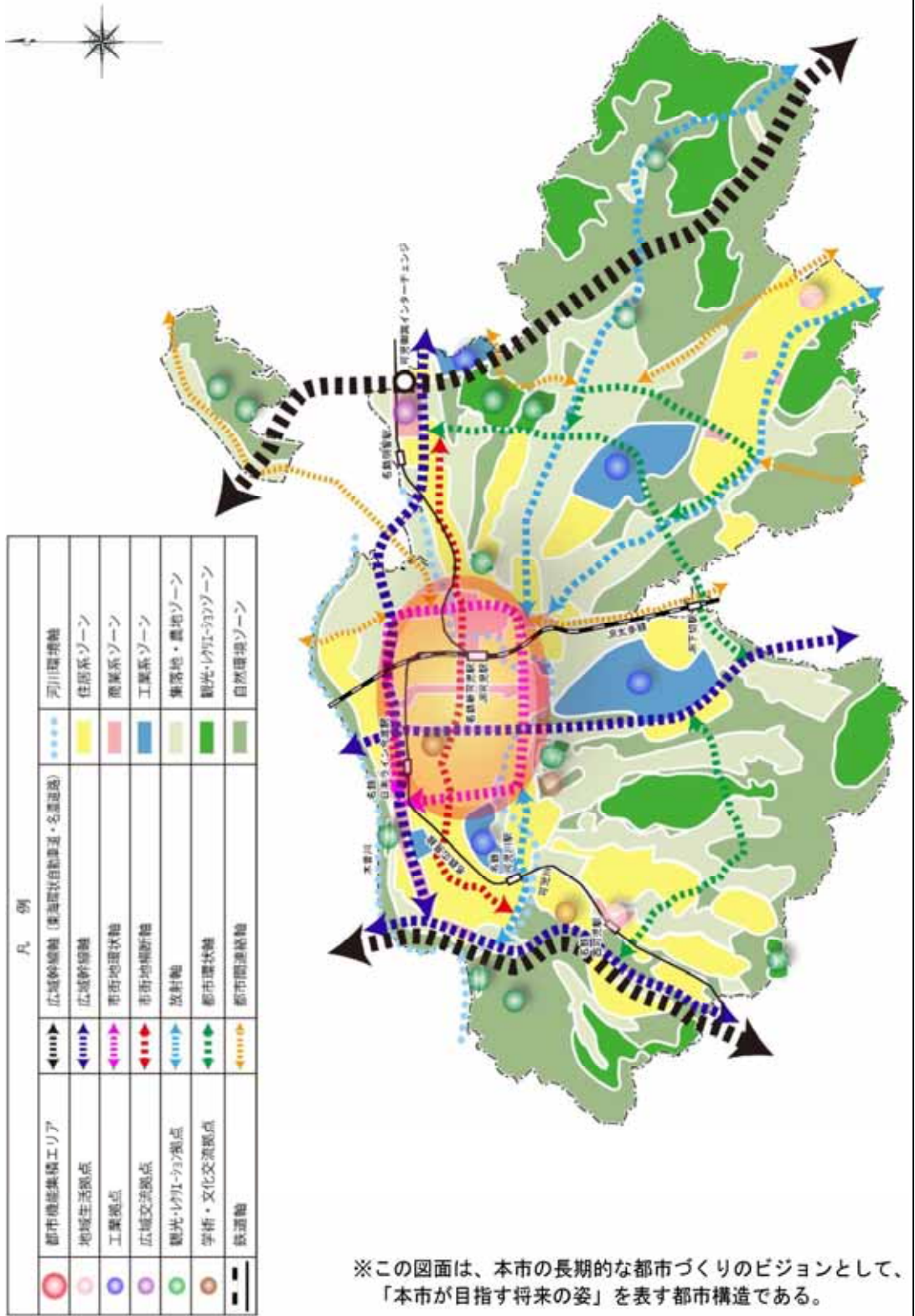
計画期間	平成 27 年度～平成 31 年度（2019 年度）																									
<p>計画の趣旨</p>	<p>今後も住み良い環境を確保し、将来にわたって活力ある社会を維持していくため、人口減少に歯止めをかけ、年齢構造の変化を最小限にとどめていかなければなりません。</p> <p>そこで本市では、市民力、歴史、文化、自然などの様々な地域資源を活用しながら、結婚・妊娠・出産・子育てがしやすく、元気な地域や経済に支えられた安心・安全な暮らしができ、若い世代をはじめ、誰もが満足と幸せを感じて暮らすことができる住みごこちのよいまちを創り上げていくことで、人口の社会減、自然減に対応していきます。</p>																									
<p>計画の概要</p>	<table border="1"> <tr> <td data-bbox="427 674 1018 779"> 基本目標1(元気) 安定した生活基盤を築ける「人と経済が元気なまち」を創る </td> <td data-bbox="1018 674 1362 779"> 国の総合戦略の基本目標 ○地方における安定した雇用を創出する 県の総合戦略の基本目標 ○しごとをつくる </td> </tr> <tr> <td data-bbox="427 790 1018 896"> 基本目標2(魅力) 市の魅力を向上・発信することにより、人を引き付ける「魅力とつながりのあるまち」を創る </td> <td data-bbox="1018 790 1362 896"> 国の総合戦略の基本目標 ○地方への新しい人の流れをつくる 県の総合戦略の基本目標 ○岐阜に呼び込む ○まちをつなぐ </td> </tr> <tr> <td data-bbox="427 907 1018 1048"> 基本目標3(希望) 子育て世代が安心して、妊娠・出産・子育てができる「子育ての希望がかなうまち」を創る </td> <td data-bbox="1018 907 1362 1048"> 国の総合戦略の基本目標 ○若い世代の結婚・出産・子育て希望をかなえる 県の総合戦略の基本目標 ○ひとを育む </td> </tr> <tr> <td data-bbox="427 1059 1018 1196"> 基本目標4(安心) 地域で安心して暮らし続けることのできる「健康と安心が実感できるまち」を創る </td> <td data-bbox="1018 1059 1362 1196"> 国の総合戦略の基本目標 ○時代にあった地域をつくり、安心な暮らしを守るとともに地域と地域を連携する。 県の総合戦略の基本目標 ○安心をつくる </td> </tr> </table>	基本目標1(元気) 安定した生活基盤を築ける「人と経済が元気なまち」を創る	国の総合戦略の基本目標 ○地方における安定した雇用を創出する 県の総合戦略の基本目標 ○しごとをつくる	基本目標2(魅力) 市の魅力を向上・発信することにより、人を引き付ける「魅力とつながりのあるまち」を創る	国の総合戦略の基本目標 ○地方への新しい人の流れをつくる 県の総合戦略の基本目標 ○岐阜に呼び込む ○まちをつなぐ	基本目標3(希望) 子育て世代が安心して、妊娠・出産・子育てができる「子育ての希望がかなうまち」を創る	国の総合戦略の基本目標 ○若い世代の結婚・出産・子育て希望をかなえる 県の総合戦略の基本目標 ○ひとを育む	基本目標4(安心) 地域で安心して暮らし続けることのできる「健康と安心が実感できるまち」を創る	国の総合戦略の基本目標 ○時代にあった地域をつくり、安心な暮らしを守るとともに地域と地域を連携する。 県の総合戦略の基本目標 ○安心をつくる																	
基本目標1(元気) 安定した生活基盤を築ける「人と経済が元気なまち」を創る	国の総合戦略の基本目標 ○地方における安定した雇用を創出する 県の総合戦略の基本目標 ○しごとをつくる																									
基本目標2(魅力) 市の魅力を向上・発信することにより、人を引き付ける「魅力とつながりのあるまち」を創る	国の総合戦略の基本目標 ○地方への新しい人の流れをつくる 県の総合戦略の基本目標 ○岐阜に呼び込む ○まちをつなぐ																									
基本目標3(希望) 子育て世代が安心して、妊娠・出産・子育てができる「子育ての希望がかなうまち」を創る	国の総合戦略の基本目標 ○若い世代の結婚・出産・子育て希望をかなえる 県の総合戦略の基本目標 ○ひとを育む																									
基本目標4(安心) 地域で安心して暮らし続けることのできる「健康と安心が実感できるまち」を創る	国の総合戦略の基本目標 ○時代にあった地域をつくり、安心な暮らしを守るとともに地域と地域を連携する。 県の総合戦略の基本目標 ○安心をつくる																									
<p>公共交通に関する記述の概要</p>	<p>② 公共交通により、より良い移動手段を確保していきます</p> <p>鉄道や路線バス、コミュニティバス[®]といった公共交通の利用を促進するとともに、公共交通の維持に取り組み、移動の利便性を確保します。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th data-bbox="448 1330 1075 1361">内 容</th> <th data-bbox="1075 1330 1350 1361">主な担当</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="448 1368 1075 1462"> <ul style="list-style-type: none"> ・コミュニティバスのサービス水準の維持・充実と利用促進 ・名鉄広見線の運営支援と利用促進 ・路線バスの運行支援と利用促進 </td> <td data-bbox="1075 1368 1350 1462">建設部都市計画課</td> </tr> </tbody> </table> <p>■重要業績評価指標(KPI)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th data-bbox="448 1503 962 1534"></th> <th data-bbox="962 1503 1123 1534">基準値</th> <th data-bbox="1123 1503 1284 1534">目標値(H31)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="448 1541 962 1585">地区別災害時行動マニュアル[®]の作成組織数</td> <td data-bbox="962 1541 1123 1585">一組織</td> <td data-bbox="1123 1541 1284 1585">53組織</td> </tr> <tr> <td data-bbox="448 1592 962 1637">コミュニティバス利用者数</td> <td data-bbox="962 1592 1123 1637">78,107人(H26)</td> <td data-bbox="1123 1592 1284 1637">85,800人</td> </tr> <tr> <td data-bbox="448 1644 962 1688">施設(公民館)の稼働率</td> <td data-bbox="962 1644 1123 1688">26.4%(H26)</td> <td data-bbox="1123 1644 1284 1688">30.0%</td> </tr> </tbody> </table> <p>■基本的方向</p> <p>地域資源を掘り起し、市の魅力を高め、その魅力を市内外に発信することにより、交流人口を増やします。子どもから大人までの市民誰もが可児市の良さを認識し、誇りと愛着を育み市民の活力を促進します。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th data-bbox="448 1798 882 1830">数値目標</th> <th data-bbox="882 1798 1083 1830">基準値</th> <th data-bbox="1083 1798 1284 1830">目標値(H31)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="448 1836 882 1881">観光交流人口(市内観光施設入込客数)</td> <td data-bbox="882 1836 1083 1881">3,622,450人(H26)</td> <td data-bbox="1083 1836 1284 1881">4,500,000人</td> </tr> <tr> <td data-bbox="448 1888 882 1933">可児市に愛着がある人の割合(アンケート)</td> <td data-bbox="882 1888 1083 1933">16.7%(H27)</td> <td data-bbox="1083 1888 1284 1933">30.0%</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: right;">※公民館（現 地区センター）</p> <p style="text-align: right;">※出典：可児市総合戦略</p>	内 容	主な担当	<ul style="list-style-type: none"> ・コミュニティバスのサービス水準の維持・充実と利用促進 ・名鉄広見線の運営支援と利用促進 ・路線バスの運行支援と利用促進 	建設部都市計画課		基準値	目標値(H31)	地区別災害時行動マニュアル [®] の作成組織数	一組織	53組織	コミュニティバス利用者数	78,107人(H26)	85,800人	施設(公民館)の稼働率	26.4%(H26)	30.0%	数値目標	基準値	目標値(H31)	観光交流人口(市内観光施設入込客数)	3,622,450人(H26)	4,500,000人	可児市に愛着がある人の割合(アンケート)	16.7%(H27)	30.0%
内 容	主な担当																									
<ul style="list-style-type: none"> ・コミュニティバスのサービス水準の維持・充実と利用促進 ・名鉄広見線の運営支援と利用促進 ・路線バスの運行支援と利用促進 	建設部都市計画課																									
	基準値	目標値(H31)																								
地区別災害時行動マニュアル [®] の作成組織数	一組織	53組織																								
コミュニティバス利用者数	78,107人(H26)	85,800人																								
施設(公民館)の稼働率	26.4%(H26)	30.0%																								
数値目標	基準値	目標値(H31)																								
観光交流人口(市内観光施設入込客数)	3,622,450人(H26)	4,500,000人																								
可児市に愛着がある人の割合(アンケート)	16.7%(H27)	30.0%																								

第二次可児市都市計画マスタープラン

計画期間	平成 28 年度～平成 38 年度（2026 年度）
<p>計画の趣旨</p>	<p>可児市第四次総合計画を踏襲し、地理的・交通的な好条件を強みに、自然、歴史・文化、産業といった固有の地域資源も最大限に守り活かしながら、安全、快適に暮らせる住環境や、活力ある産業環境を市民とともに創造していくものとして、これからの都市づくりに向けた本市の将来像を次のように設定する。</p> <p>【将来像】輝く人とまち人つながる可児 【実現化する姿】住みごこち一番・可児 ～若い世代が住みたいと感じる魅力あるまちの創造～</p>
<p>計画の概要</p>	<div style="text-align: center;"> <p>【都市づくりの目標】</p> <p>The diagram consists of a central box on the left containing the vision and implementation posture, a box below it for themes, and a vertical list of five goals on the right. Lines connect the central box to each goal, and the theme box also connects to the goals.</p> </div> <p>【将来像】 輝く人とまち 人 つながる可児 【実現化する姿】 住みごこち一番・可児 ～若い世代が住みたいと感じる魅力あるまちの創造～</p> <p>【都市づくりのテーマ】 ●住みたい、住み続けたいと思う都市づくり ●都市の活力を高める都市づくり</p> <p>①定住・移住の促進に向けた快適な居住環境の確保 ②都市機能の集積、多様な都市機能を結ぶネットワークの強化 ③秩序ある開発の誘導と自然環境や優良農地の保全 ④災害に強い都市、安全・安心な市街地環境の形成 ⑤自然や歴史・文化を身近に感じる、ゆとりある生活空間の創出</p>
<p>公共交通に関する記述の概要</p>	<p>●基本的な考え方 地域公共交通の現状や課題等を踏まえ、公共交通網の見直し等により、公共交通の維持・存続を図る。</p> <p>●鉄道の整備方針 鉄道については、JR太多線、名鉄広見線があり、本市と名古屋市や周辺都市を連結している。今後は、輸送体制の強化や路線の存続を関係機関に要請していくとともに、JR可児駅・名鉄新可児駅については可児駅東土地区画整理事業の実施に合わせて駅前広場や東西自由通路の整備を推進し、交通結節点としての機能の充実や利便性の向上を図る。 また、各鉄道駅周辺においては、バリアフリー化やユニバーサルデザインを推進するとともに、公共交通の拠点として、都市機能(商業施設、公共サービス施設)の集積を図る。</p> <p>●バス交通の整備方針 路線バスについては、自動車を運転できない市民の日常生活において重要であり、鉄道と連携した輸送体制の強化と路線の維持について、関係機関に要請していく。 また、コミュニティバスについては、重要な公共交通の一つとして位置付け、ダイヤや運行形態の見直し、鉄道や路線バスとの連携による利便性の向上を図り、地域の特性に即した公共交通体系の確立を目指す。</p> <p>●その他施設の整備方針</p> <p>○駅前広場 市の玄関口であるJR可児駅・名鉄新可児駅においては、バスやタクシー等他の交通手段への乗り換え結節点としての機能を強化するため、利用実態に応じて駅前広場を整備する。</p> <p>○東西自由通路 JR可児駅・名鉄新可児駅において、鉄道で分断された東西の地域を結び、駅利用者や来訪者の利便性の向上を図るため、可児駅東土地区画整理事業に合わせて、バリアフリー化に対応した東西自由通路の整備を推進する。</p> <p>○公共駐車場 JR可児駅・名鉄新可児駅等の主要な駅周辺において、将来の土地利用や鉄道利用者の需要に応じて、パーク・アンド・ライド等の公共駐車場の整備を検討する。</p>

※出典：第二次可児市都市計画マスタープラン

将来都市構
造図



※出典：第二次可児市都市計画マスタープラン

3) 公共交通の現状

サービス水準の整理

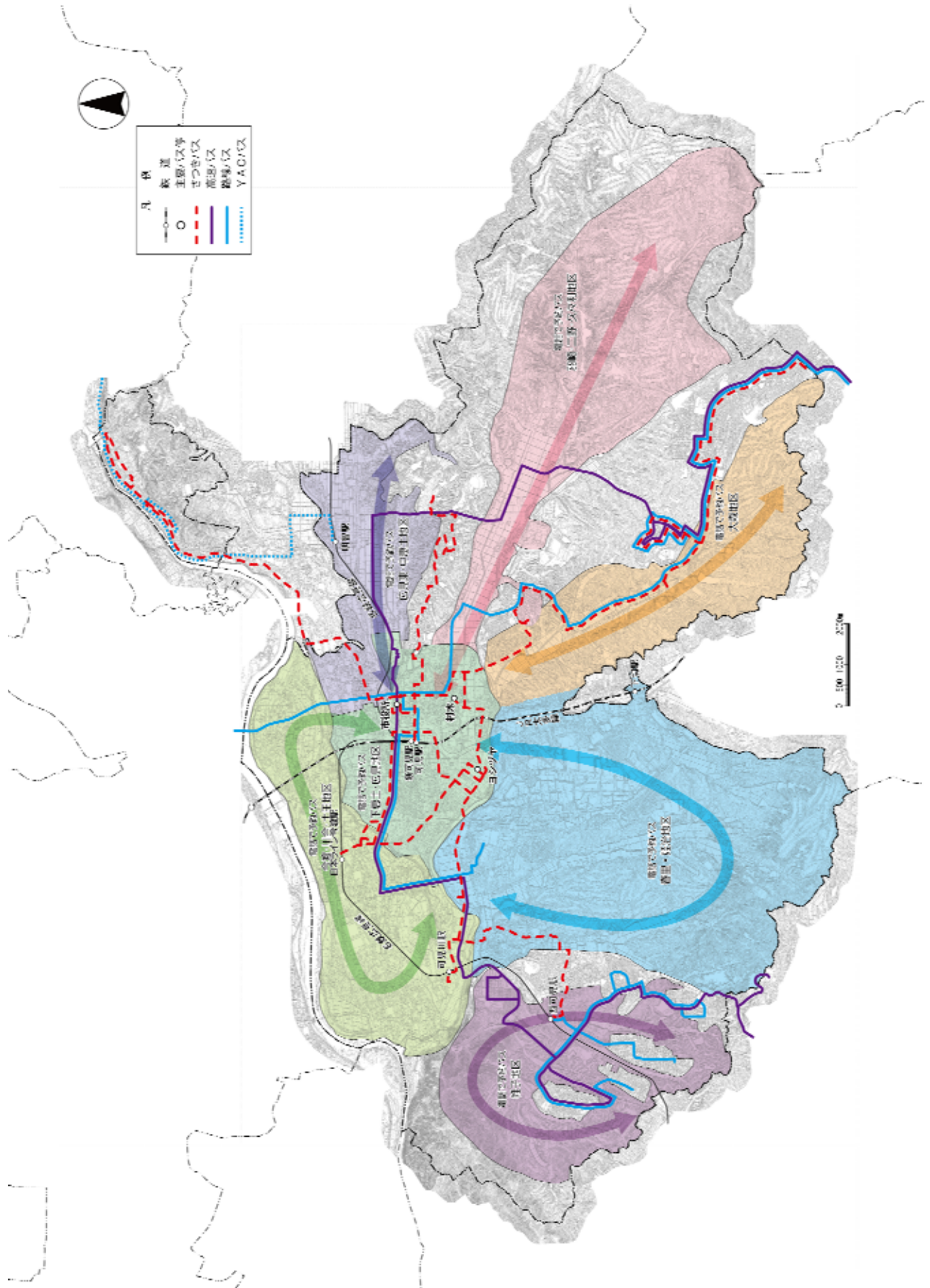
- ・本市の鉄道は、JR太多線、名鉄広見線の2路線が運行している。
- ・バスは、高速バス2路線が本市と名古屋市を結ぶ路線として運行されているとともに、隣接市町及び本市内を連絡する路線として東鉄バス4路線、YAOバス、さつきバス5路線、電話で予約バス7地区、あい愛バス1路線が運行している。また、季節限定で東鉄バス花フェスタ記念公園線が運行している。
- ・市内特定の観光・文化施設と鉄道駅を結び、決まったルート・時刻で運行するKバスと、地区内の特定の駅、観光・文化施設をつなぎ、電話予約に応じて運行するKタクは、日曜・祝日の“市民のお楽しみの創出”につながる路線として、平成29年度中の実証運行を経て、平成30年4月より本格運行へと移行した。

表 公共交通運行状況（平成31年1月現在）

路線名	運賃	運行時間・便数						備考	
		平日			休日				
		時間	便数		時間	便数			
		上り	下り		上り	下り			
JR太多線(2駅)	対距離制	5時台~0時台	38本	39本	5時台~0時台	37本	37本		
名鉄広見線	対距離制	犬山-新可児間	5時台~23時台	72本	76本	5時台~23時台	73本	76本	
		新可児-御嵩間	5時台~23時台	40本	40本	6時台~23時台	36本	36本	
都市間高速バス(2路線)	対距離制	桜ヶ丘ハイツ-名古屋線	6時台~0時台	21便	21便	6時台~22時台	15便	15便	
		西可児-名古屋線	6時台~21時台	7便	8便	7時台~21時台	7便	7便	
東鉄バス(3路線)	対距離制	桜ヶ丘ハイツ線	5時台~23時台	32便	34便	6時台~21時台	24便	22便	
		緑ヶ丘線	7時台~18時台	4便	4便	-			土休日運休
		八百津線	9時台~14時台	2便	2便				土休日運休
東鉄バス帷子線(3系統)	対距離制	緑系統	6時台~20時台	14便	13便	7時台~19時台	13便	11便	可茂特別支援学校校校日は各1便
		長坂団地系統	6時台~21時台	15便	13便	7時台~19時台	11便	10便	
		光陽台系統	6時台~21時台	18便		7時台~19時台	14便		
YAOバス	対距離制	6時台~21時台	21便	21便	6時台~20時台	17便	17便		
さつきバス(5路線)	均一制(200円)	中心循環線	8時台~17時台	4便	5便	-			月曜日-土曜日運行 (祝日・振替休日・年末年始を除く)
		西部線	7時台~19時台	7便	6便				
		東部線	7時台~18時台	6便	7便				
		桜ヶ丘線	7時台~16時台	4便	4便				
		兼山線	8時台~16時台	4便					
電話で予約バス(7地区)	均一制(300円)	今渡・川合・土田地区	8時台~16時台	最大9往復(1往復/時)		-			
		春里・姫治地区		最大9往復					
		広見東・中恵土地区		最大9往復(1往復/時)					
	均一制(200円)	羽崎・二野・久々利地区		最大9往復					
		大森地区		最大9往復(1往復/時)					
		下恵土・広見地区		最大9便 ; 最大9便					
帷子地区	最大9往復(便)								
Kバス	1乗車300円 (帷子地区は200円)	-	9時台~17時台	4便	5便			日曜日・祝日・振替休日運行 (年末年始を除く)	
Kタク(6地区)	Kバス・Kタク 共通1日乗車券 500円		今渡・川合・土田地区	8時台~16時台	最大9往復				
			広見東・中恵土地区						
			羽崎・二野・久々利地区						
			大森地区						
			下恵土・広見地区						
帷子地区									
あい愛バス	均一制(100円)	7時台~19時台	7便		7時台~19時台	7便		年末年始運休	
東鉄バス花フェスタ公園線	対距離制	-	10時台~15時台	4便	4便			4月第2土曜日~6月第4日曜日運行 平日運休	

※資料：可児市ホームページ、東海旅客鉄道ホームページ、名古屋鉄道ホームページ、東濃鉄道ホームページ

図 鉄道、バス路線網図



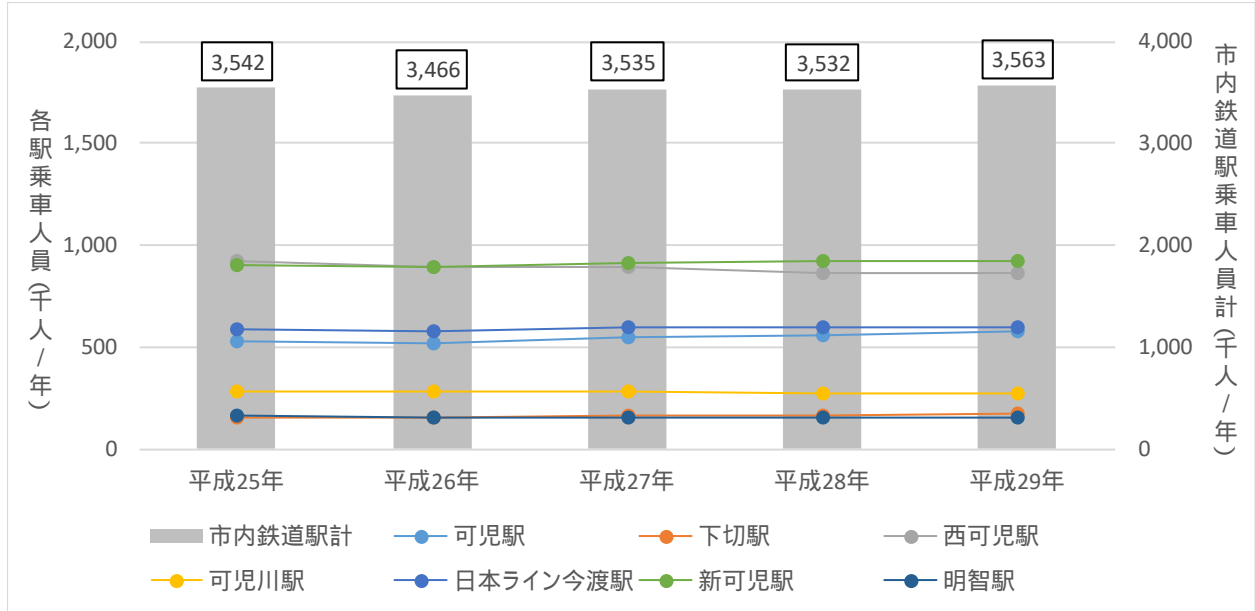
※資料：可児市ホームページ、東海旅客鉄道ホームページ、名古屋鉄道ホームページ、東濃鉄道ホームページ

公共交通の利用状況

(1) 鉄道利用者数

- ・市内各駅の乗車人員は概ね横ばい傾向にある。

図 市内鉄道駅乗車人員の推移



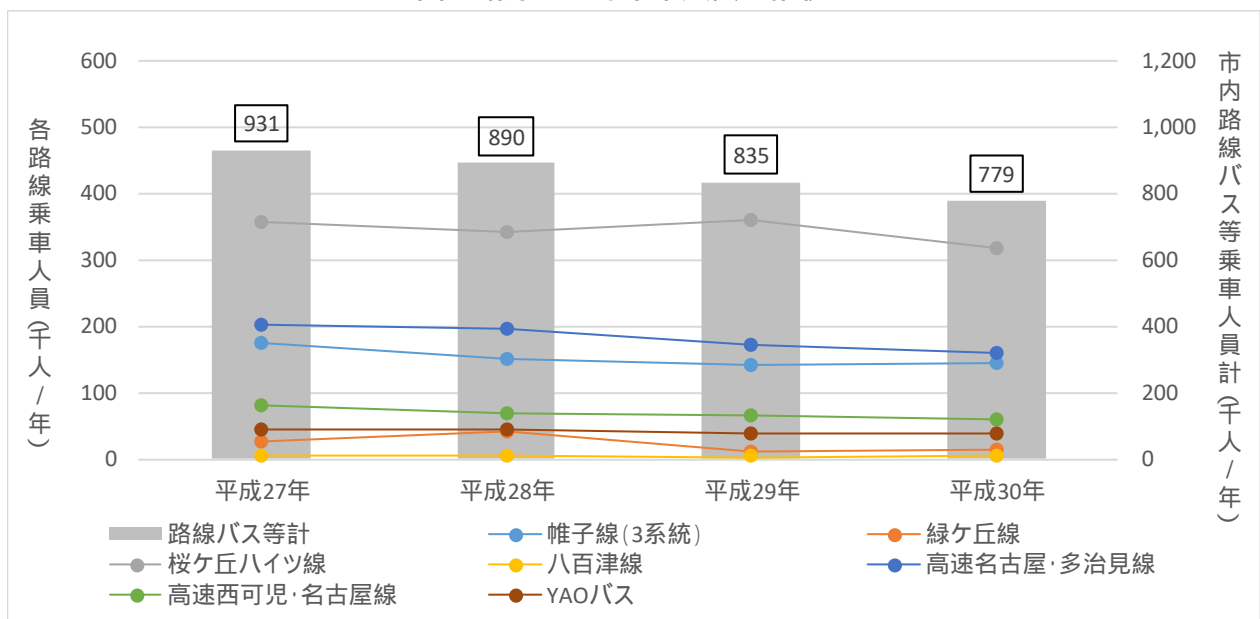
(名鉄広見線の平成29年各駅利用者数は平成31年1月現在未公表のため平成28年利用者数を引用)

※資料：可児市統計資料

(2) 路線バス利用者数

- ・路線バス及び高速バスの路線全体及び概ねの路線で利用者数は減少傾向にある。

図 路線バス等乗車人員の推移



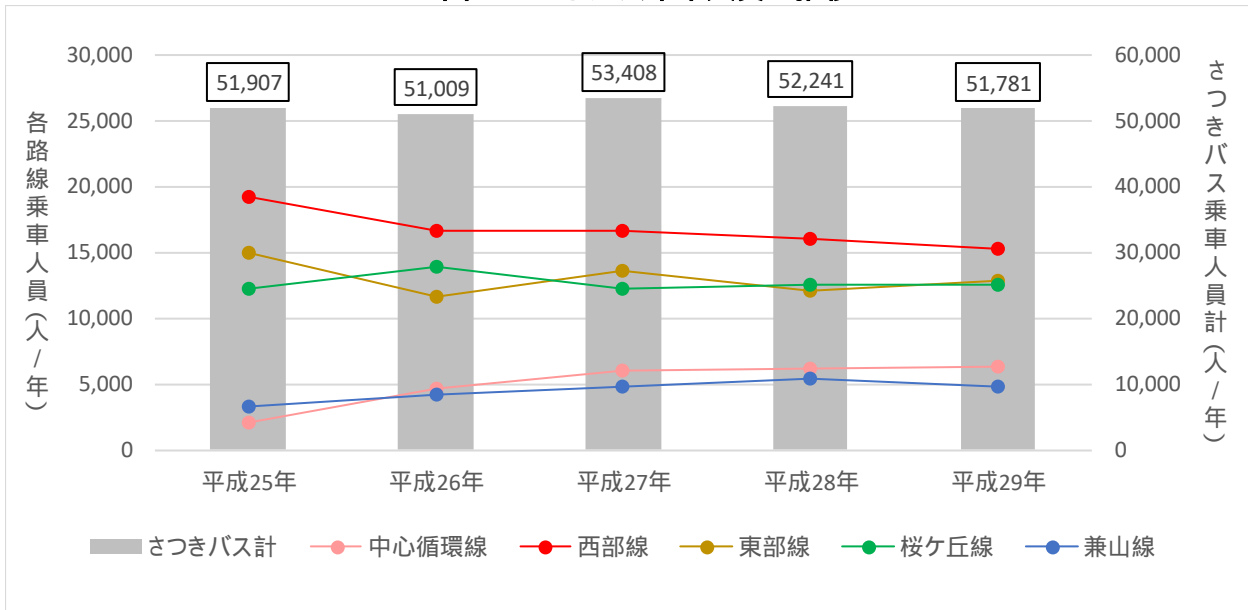
(バス年度(10月～翌年9月)集計、高速可児市役所前・名古屋線は平成30年3月31日をもって廃止)

※資料：東濃鉄道系統別輸送実績

(3) さつきバス利用者数

- ・中心循環線は増加傾向にあるが、路線全体としては概ね横ばい傾向にある。

図 さつきバス乗車人員の推移

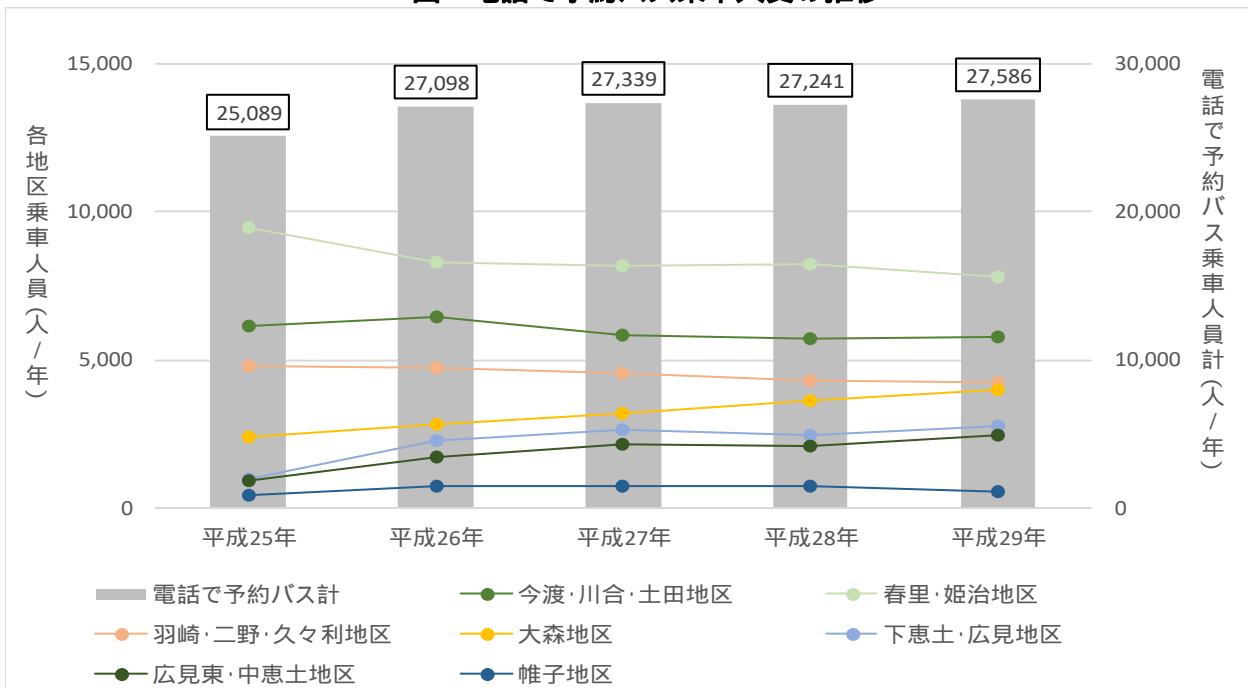


※資料：可児市統計資料

(4) 電話で予約バス利用者数

- ・大森地区、下恵土・広見地区、広見東・中恵土地区では増加傾向にあるが、電話で予約バス全体としては横ばい傾向にある。

図 電話で予約バス乗車人員の推移



※資料：可児市統計資料